

「平成 30 年 7 月豪雨被害同業者、及び交通事故遺児基金への支援のため
ボランティア活動を実施致しました。」

目的

一関支部青年部は、青年部会員で廃品回収をし、買取業者へ売却し、得た利益を「西日本豪雨被害」及び一部「交通事故遺児基金」へ寄付する。

7月6日未明から、西日本を襲った記録的な豪雨ですが、局地的に一日で一か月分の雨量を記録するなど、多くの河川が氾濫。また家屋をいくつも飲み込む悲惨な土砂被害も引き起こしました。メディアから聞こえてくる状況は、とても心苦しくなるような惨状で、東日本大震災を経験した当支部青年部は西日本の同業会員の為、また、自動車業界として社会的使命として、交通事故でご両親を失った交通遺児へ寄付する為に、今事業を行いました。

実施要領

当青年部の上部組織である、岩手県自動車整備振興会一関支部の会員事業場全てへ、支部長・青年部部会長連名で、目的や、内容を記した協力依頼文章をFAXし、名乗り出ていただいた事業場へ、青年部会員が取りに伺い、一度集約した廃品を業者に排出し、業者より入金された廃品回収益金を、寄付する形で、進めました。

詳細事項

- ※ 実施日は平成 30 年 7 月 21 日(土) 午前 9 時～
- ※ 廃品回収事業は、青年部幹事会で立案・決定した。
- ※ 益金は 308,934 円
- ※ 当日は 12 名の青年部会員。
- ※ 買い取り業者は、花泉町の(株)ヨシムラ様です。

支援のため活動した皆様



回収作業





